

原子力潜水艦火災 - 西日本防災システム

2012年5月23日にメイン州キタリーにあるスポーツマス海軍造船所で修理中のロサンゼルス級の原子力潜水艦「マイヤミ」で大規模火災が発生。捜査に当たっていた検察当局は当時艦内で塗装作業等を請け負っていた民間の作業員を2件の放火容疑で訴追したと発表しました。

男性容疑者(26歳)は犯行を否認していたがその後自供したようです。「マイヤミ」の内部や外部にあった建設資材や補給物資の保管庫で6月16日に発生した火災にも関与していたことが判ったようです。

海軍の捜査当局によると容疑者はうつ病などのための治療薬を服用していたようです。有罪が確定すれば終身刑や最大25万ドルの罰金、損害賠償金の支払い等の判決を受ける可能性があるそうです。

自供によると艦内の部屋にあった掃除機の近くの布切れの山に放火したようですが海軍は出火直後の検証で電気掃除機が出火原因の可能性があるとの見方を示していたようです。この火災で「マイヤミ」の船体に約4億ドル(312億円)の被害が出たようです。

「マイヤミ」 1990年就役 乗員は将校12人 下士官98人

312億円とは とんでもない金額ですねー



映像はインターネットより転載



西日本防災システム

NI:SHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>

弊社top pageへ 